

CONTENTS

- ◇令和7年度臨時総会
- ◇商工会の事業承継支援
- ◇協会けんぽ保険料率変更のお知らせ
- ◇令和7年度千葉県商工会女性部研修会
- ◇令和7年度関東ブロック商工会青年部連絡協議会
- ◇令和7年度千葉県商工会青年部サクセス交流会
- ◇【専門家コラム】
中小企業診断士が説く「インフレ耐性」のある組織とは？
- ◇事業環境変化対応型支援事業の相談窓口について

中小・小規模事業者の「稼ぐ力」の強化を全力で支援

～令和7年度臨時総会～

令和8年3月19日（木）ホテルポートプラザちばにて、令和7年度千葉県商工会連合会臨時総会が開催されました。

冒頭、寒郡茂樹県連合会長は挨拶の中で、令和8年度においては、国・県の補助金をフル活用し、専門家派遣等を一層充実させることで、小規模事業者の「稼ぐ力」の強化に全力で取り組む旨の活動方針を示しました。

併せて、喫緊の課題である中小・小規模事業者の事業承継支援については、県連合会において必要な予算措置を講じ、事業者・経営指導員等を対象としたセミナー開催や日本政策金融公庫等との連携を促進するなど、円滑な事業承継に資する事業展開をより強化する決意を述べました。

また、地域活性化の観点から、個々の商工会や自治体の枠を超えた「広域的な経済圏によるマーケットの構築」が望まれるとし、成田空港の機能強化の動き等に合わせ、今こそ、県内全域で各地域の特色に応じた経済活性化策を展開していく必要がある旨強調しました。

さらに、政府に設置された「社会保障国民会議・給付付き税額控除等に関する実務者会議」において、寒郡会長が商工会組織を代表して3月下旬にヒアリングを受けることから、小規模事業者の立場に立った意見を陳述することを伝えるとともに、「今後も小規模事業者支援のため、国に対し必要な提言を実行していく」と述べました。

その後、議案審議が行われ、上程された令和8年度事業計画等の6議案全てが原案どおり承認され、臨時総会は閉会いたしました。当該議案及び令和8年度事業実施に係る基本方針及び重点事業は別記のとおりです。



挨拶する千葉県商工会連合会 寒郡会長

●令和7年度 臨時総会議案

- 第1号議案 令和7年度一般会計収支予算補正(案)承認の件
- 第2号議案 令和8年度事業計画(案)承認の件
- 第3号議案 令和8年度一般会計収支予算(案の1)、会費賦課基準(案の2)及び借入金限度額(案の3)承認の件
- 第4号議案 令和8年度常勤役員報酬(案)承認の件
- 第5号議案 令和8年度共済事業計画(案)及び特別会計予想損益計算書(案)承認の件
- 第6号議案 千葉県商工会等職員退職積立金管理規約の一部変更の件



臨時総会の様子

●令和8年度 基本方針及び重点事業について

【基本方針】

- 1 中小・小規模事業者の経営課題解決に向け、伴走型支援を一層強化することはもとより、喫緊の課題である事業承継支援の充実を図り、地域経済の持続的発展を推進する。
- 2 地域で唯一の総合経済団体として、地方創生の推進に寄与するため、地方行政・関係団体等との連携を強化し、地域活性化に向けた取組みを推進する。
- 3 激甚化・頻発化している自然災害等に備え、中小・小規模事業者の事業継続に資するリスクマネジメントを強化するとともに、商工会の財政基盤の安定に寄与する共済事業を推進する。
- 4 県内の広域経済圏の活性化に向け、エリアごとの特色に応じた経済振興策等に係る県連合会の提言機能の強化を図る。
- 5 コンプライアンスの遵守と商工会役職員の資質向上を推進する。

【重点事業】

- 1 会員加入増強運動の実施
- 2 伴走型支援の充実
- 3 様々な経営環境の変化に対応した支援事業の実施
- 4 経営発達支援事業に対する支援
- 5 創業及び事業承継支援の強化
- 6 広域展開を見据えた販路開拓支援事業の実施
- 7 広域連携体制の構築等による支援体制の強化に係る検討の促進
- 8 共済・保険事業の推進
- 9 商工会財政力向上への支援
- 10 資質向上対策事業の実施
- 11 若手後継者等育成事業の実施

次世代へのバトンタッチ 千葉県商工会連合会は、事業承継支援を強化します

千葉県商工会連合会は、事業承継支援を強化するため、後継者に直面する事業者を「承継可能な地域資源」として定義し、地域内で事業承継へのサイクルを好循環させる仕組みの構築を目指します。

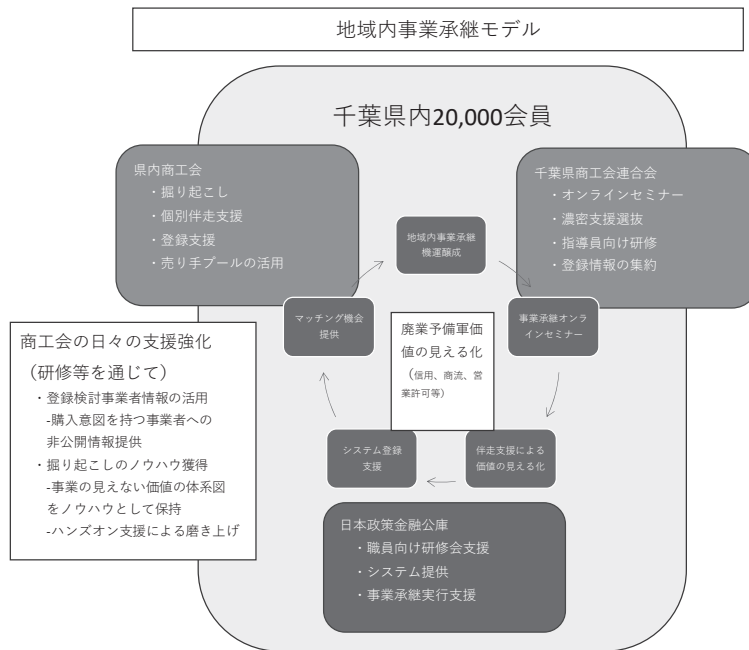
近年、後継者不在による廃業は増加傾向にあります。一方で、経営者が育ててきた事業は、「雇用・商流・許認可・信用」といった目に見えにくい経営資源を有しており、経済的にも大きな価値を有しています。

また、地域内には創業希望者が存在するとともに、既存事業者においても事業拡大の意欲を持つ層が一定数存在しています。

こうした状況を踏まえ、本事業は、既存事業者の有する経営資源を可視化し、地域内での円滑な承継につなげることで、地域から経営資源が失われることの防止を図ります。

事業承継についてお悩みの事業者におかれましては、最寄りの商工会または県連合会までご相談ください。

【具体的な内容は下図のとおりです】



令和8年3月分(4月納付分)からの保険料率のお知らせです

千葉支部の健康保険料率は
引き下げとなります

令和8年2月分
(3月納付分)まで
給与・賞与の **9.79%**

健康保険料率
令和8年3月分
(4月納付分)から
給与・賞与の **9.73%**

介護保険料率も変更と
なります

令和8年2月分
(3月納付分)まで
給与・賞与の **1.59%**

介護保険料率
令和8年3月分
(4月納付分)から
給与・賞与の **1.62%**

令和8年4月分(5月納付分)より新たにスタート
子ども・子育て支援金制度が始まります

子ども・子育て支援金率
令和8年4月分
(5月納付分)から
給与・賞与の **0.23%**

※令和8年4月分(5月納付分)より子ども・子育て支援金制度が始まります。
※健康保険料、介護保険料、子ども・子育て支援金は労使折半となります。
※40～64歳の方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率と子ども・子育て支援金率に介護保険料率が加わります。
※賞与については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。
※任意継続被保険者の方は、令和8年4月分の保険料率から変更となります。

全国健康保険協会 千葉支部
TEL.043-332-2811
〒260-8645 千葉市中央区新町3-13

令和7年度千葉県商工会女性部研修会

令和8年2月6日（金）千葉県文化会館にて、令和7年度千葉県商工会女性部研修会が開催され、各商工会から143名が参加しました。

第1部では㈱テラスオフィス 代表取締役社長 高岡 はつえ 氏を講師に迎え「女性が進めるまちづくり～まちづくりに女子力を～」をテーマにご講演いただきました。

高岡氏は、新潟市のシャッター通りを再生させた「沼垂（ぬつたり）テラス商店街」を誕生させて以来、商店街の運営と地域活性化に尽力されました。

講演では、名物「沼ネコ焼」の開発や、コワーキングスペース、空き家を活用した店舗展開など多岐にわたる事例が示されました。高岡氏は「まちづくりを自分ごととして捉え、心地よい場所を自分たちでつくる」という姿勢を強調され、SNS発信やイベントを通じた「ヒトとのつながり」の大切さを語られ、多くの好評の声をいただきました。また、講演後の会場内では、参加者から多くの前向きな感想が寄せられました。



講師：高岡 はつえ 氏



挨拶する千葉県商工会女性部連合会 櫻井会長

続いて、第2部では令和8年度関東ブロック商工会女性部交流研修会（千葉大会）にかかる説明会が開催されました。

千葉大会には、千葉県を含む1都10県から1,000名ほどの女性部員が集まる予定です。他地域の女性部との交流を通して原点に立ち返り、参加者の女性部への帰属意識を高め、今後の女性部活動の活性化に資することを目的としています。

千葉県が前回幹事を務めたのは平成28年度であり、幹事県という大役は11年に一度巡ってくる非常に貴重な機会です。令和8年度の千葉大会は、本県の魅力を他の都県にPRする絶好の舞台となります。

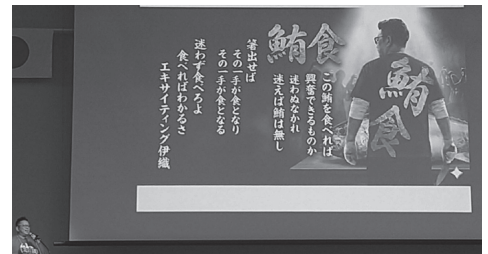
大会の成功に向け、県内の女性部員が一丸となり、「オール千葉」の精神でお越しになる方々を温かくおもてなしすることを確認しました。

関東ブロック商工会青年部連絡協議会 令和7年度後期大会（新潟大会）へ参加

令和8年2月4日（水）～5日（木）ANAクラウンプラザホテル新潟にて、関東ブロック商工会青年部連絡協議会令和7年度後期大会（新潟大会）が開催され、千葉県からは18名が参加いたしました。

大会1日目では、自社製品・サービスPRを行い、都県を越えた青年部員間でのビジネスマッチングを生み出すことを目的に、「ビジネスマッチング」と銘打たれたプログラムが実施されました。「ステージPR」「PRブース」が設けられ、関東11都県からの出展24社が思い思いの自社PRを行いました。千葉県からはEXCITING（代表 江夏 伊織 氏、白井市商工会青年部）が出展し、マグロ解体ショーや出張パーティ・ケータリングサービスといった同社ならではのサービスをPRいたしました。千葉県青連では、令和8年度以降、青年部員間のビジネスマッチングを促進する事業を構想しており、良い勉強になりました。

大会2日目には、「『非行者への社会復帰支援について』～罪を犯さずに済んでいる私たちがができること～」をテーマに、株式会社ヒューマンコメディ 代表取締役 三宅 晶子 氏を講師に迎え、基調講演が実施されました。



白井市商工会青年部 江夏（こうか）氏による事業PR

令和7年度千葉県商工会 青年部連合会サクセス交流会を開催

令和8年2月12日（木）京成ホテルミラマールにて、令和7年度千葉県商工会青年部連合会サクセス交流会が開催され、県内から56名の参加をいただきました。

当日は、アマゾンジャパンの設立に携わった経歴を持つ、西野 伸一郎 氏を講師に迎え、『失敗から学ぶ経営力』をテーマにご講演をいただきました。

講演では、西野氏ご自身の経歴から得られた教訓、経営観についてお話いただいたことで、自社事業において様々なチャレンジを試行錯誤する青年部員にとって、失敗から立ち上がり、いかに今後の事業展開につなげるかという姿勢を学ぶ良い機会となりました。

講演会の中では、県青連荒木会長と対談形式でお話を伺う企画も実施し、後継者・若手経営者としての資質向上に資するご講演を聴講いたしました。

講演会後に行われた情報交換会では、県内青年部事業や、各自の事業、経営等について活発な情報交換が行われ、失敗を恐れずに何事にもチャレンジする機運が醸成され、各事業所の経営力向上や、地域経済の活性化に資することが期待されます。



講師：西野 伸一郎 氏



対談する荒木会長（左）と西野氏（右）

「耐える経営」から「稼ぐ経営」へ。 物価高を勝ち抜くインフレ耐性のある組織とは？

世界的な物価高は終わらない？中長期的な視点で考える「インフレ耐性」のある組織

私たちは現在、米国による関税措置や不透明なイラン情勢など、社会・経済情勢が劇的に変化する荒波の中にいます。これまでの物価高騰を一時的なコストアップと捉えて耐えるフェーズは終わりました。今、経営者に求められているのは、物価高が続くことを前提とした、しなやかで力強いインフレ耐性のある組織づくりではないでしょうか。

稼ぐ力を強化しよう

インフレに強い組織には、外部環境の変化を変革の好機と捉える前向きな心構えがあります。例えば私の支援先では、コスト増に直面した事業者が使っていなかった倉庫を直売所として再活用、廃棄予定の農産物を加工して販路拡大などの取り組みがありました。これらは単なるコスト削減の延長線上にある取り組みではなく、ヒト・モノ・金・情報の経営資源を活用し、自分たちの手で価格を決定できる稼ぐ力を取り戻すための挑戦です。

付加価値に自信を持とう

価格転嫁を成功させるために最も必要なのは、経営者自身の考え方の変革です。コスト増を単に価格に上乗せするという発想ではなく、自社の製品やサービスが顧客に提供している本当の価値を再定義しましょう。

例えば、「仕入れ値が上がったので値上げさせていただきます」とお願いするだけでなく、「この品質を守るために、なぜこの素材でなければならないのか」というこだわりや、「地域や職人の技術を次世代へつなぐ」といった社会的意義をストーリーとして共有することです。このように見えない価値を言語化し、誠実に伝える姿勢こそが、価格競争から脱却し、インフレ下でも選ばれ続ける組織への第一歩となります。

デジタル活用で業務をスリム化しよう

深刻化する人手不足と最低賃金の引き上げは、避けて通れない課題となっています。インフレ耐性のある組織では、デジタルツールやDXを積極的に導入し、生産性の向上を加速させています。

例えば、ドローンを活用した点検作業の効率化、会計処理の自動化やレジ刷新などは、単なる省力化に留まりません。業務をスリム化し、限られた人材を顧客との対話や高付加価値なサービスの提供といった創造的な業務に集中させることで、コスト上昇分を上回る強いブランド力と価格転嫁の正当性を構築しているのです。

インフレという新しい常態において、過去の成功体験に固執せず、ビジネスモデルを柔軟に作り変え続けて情報発信する組織こそが、真の持続可能性を獲得できるのではないのでしょうか。

西 優

一般社団法人千葉県中小企業診断士協会正会員
中小企業診断士
1979年生まれ。佐賀県伊万里市出身。東京大学を卒業後、上場企業での勤務、起業、中小企業勤務を経て、2019年に中小企業診断士として独立。様々な規模やステージの企業の勤務経験の視点を基に、生成AI活用のセミナー、商工会・商工会議所の窓口相談、補助金申請支援などに取り組んでいる。



山月記経営研究所
メール：nishi@sangetsuki.com
HP：https://sangetsuki.com/

商売のお悩み無料相談窓口を実施しております。

【事業環境変化対応型支援事業の相談窓口について】

事業環境の変化に迅速に対応するため、経営者が直面する様々な課題に対して無料で専門的な支援を受けることができます。ご商売のお悩みはお一人で抱え込まず、ぜひ本窓口（TEL：043-305-5980）や最寄りの商工会へご相談ください。

具体的にどのような相談ができるの？

「こんなことまで聞いていいのかな？」という心配は不要です。商工会では、経営上のあらゆるお悩みに対応しています。

【相談事例のご紹介】

飲食店経営：長引く社会情勢の影響で事業継続が難しい。今、打てる手立てを考えたい。
建設業経営：資材やエネルギー価格の上昇で収益が落ちている。コスト管理や価格転嫁を相談したい。
事業承継：そろそろ後継者への引き継ぎを考えたいが、何から手をつければよいか分からない。
補助金活用：新しい事業に挑戦したい。使える補助金の種類や申請の手続きを教えてください。
デジタル化：業務効率化のためにITツールを導入したいが、選び方が分からない。

県内40拠点のネットワークによる「伴走支援」

千葉県内にある40の拠点を活用し、相談だけで終わらせず、結果が出るまで地域密着で継続的に支援を行います。

「日中は商売が忙しくて時間が取れない」という方もご安心ください。現在は来会いただかなくても、電話やLINE、Zoom（オンライン）での相談が可能です。まずは気軽な気持ちでご相談ください。

